



# 2006年度に向けて

## 2005年度の主な活動

2005年度は、「商品を通した環境への貢献」、「事業活動における環境保全への貢献」および「社会の環境活動への貢献」を重要課題として取り組みました。たとえば、「商品を通した環境への貢献」については、特定有害物質としてRoHS指令で使用が禁止されている鉛や六価クロムなどを含まない、環境にやさしいドットインパクトプリンタの生産体制の構築を海外も含めたすべての生産拠点で完了しました。これにより、年間で約13トンの鉛と約8キログラムの六価クロム使用量削減が見込まれます。「事業活動における環境保全への貢献」については、中国生産拠点の物流改革を推進しており、このたび新輸送ルートでの運用を開始しました。これにより、2004年度と比較して1年間で、約540トンのCO<sub>2</sub>排出量の削減が見込まれます。「社会の環境活動への貢献」については、2005年1月の長野県小諸市との「森林(もり)の里親」協定に続き、群馬森林管理署と「ふれあいの森」における森林整備等の活動に関する協定を締結しました。沖電気に与えられたフィールドは群馬県高崎市寺尾町小塚山国有林の一部(5.4ha)で、「沖電気グループふれあいの森」の看板が立てられ、2010年3月31日まで森林ボランティア活動(除伐、つる切り、下草刈り等)を実施します。

## 2006年度の重点活動(枠組み)

2006年度も引き続き、「商品を通した環境への貢献…含有化学物質の抑制・管理」、「事業活動における環境保全への貢献…地球温暖化防止対策の推進」および「社会の環境活動への貢献…環境コンプライアンスの遵守」を環境活動の”三つの柱(ポイント)”として積極的にかつ着実に推進し、「e社会®」の実現を目指します。特に2006年度は、下記事項を重要テーマと位置付けて取り組んでいきます。

